

北陸農政局長賞受賞

かみよろちく
○上丁地区（福井県大野市）

水稻の種子生産を行い、県外へも出荷する優良な種子産地である上丁地区は、住民の高齢化により農業への関心が薄れ、若者の参加が少なくなったこともあり、集落活動における参加意識が低い状態となっていた。

当地区では、担い手減少について歯止めをかける必要があると考え、集落の魅力を高めることを検討していた中、平成元年から始まった大区画ほ場整備事業を契機に新たな組織づくりの機運が高まり、住民から地域が元気になる取組ができないか、という提案を受け、ほたるが生息できる自然環境に着目し、ほたるの保全活動を目的として平成21年に「ほたるの里丁（よろ）」検討委員会を設立した。

この後、「ほたるの里丁」が行う環境保全型活動を背景として、「安全・安心でおいしい米づくり」に向けて設立した「ほたるの里丁有機農法研究会」が生産する特別栽培米が地域ブランドとして認定され、新たな商品開発として米菓製品、新酒づくり、デパート販売等の農商工連携による6次産業化の取組へと発展している。

また、上丁地区の全戸（22戸）で組織される「ほたるの里丁」では、ほたるの生態に合わせた環境整備として、草刈りや植栽活動を住民共同で行い、ほたる鑑賞会を始め各種イベントは、地域住民が活動に貢献できるように計画的な取組となっている。

当地区において、集落活動の危機感から地域資源である「ほたる」に活路を見だし、ここから組織を立ち上げ、地域活性化へと導いた取組は評価できるものである。



ホタルが生息する上丁地区



ホタル保全強化区域



農産物加工品（米パン）



イベント「収穫祭」



都市住民との交流